

春期にアブラムシ類およびアザミウマ類の捕食性土着天敵の温存に有効な植物

アブラムシ類やアザミウマ類等の害虫に対する捕食性天敵の発生を春期に促進させるための温存植物を選定

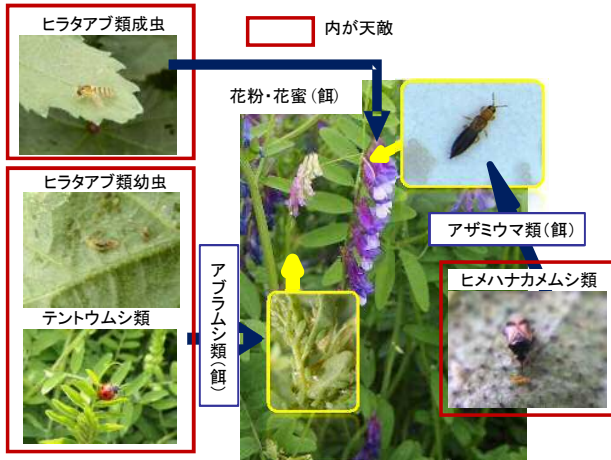
背景・目的

- ・気温が低い春期では、土着天敵の発生が害虫の発生よりも遅延し、被害が発生しやすい
- ・捕食性土着天敵(テントウムシ類, ヒラタアブ類, ヒメハナカメムシ類)の春期の天敵温存植物上の発生メカニズムの解明が必要
- ・作物の生育初期段階から、天敵の発生を促し、被害を回避する手段が必要

成果の内容

捕食性土着天敵であるテントウムシ類, ヒラタアブ類, ヒメハナカメムシ類の春期の保全に有効な天敵温存植物
ヘアリーベッチ, シロガラシ, クリムゾンクローバ

天敵温存植物上で天敵が発生するメカニズム



有効な天敵温存植物と主な餌資源

| 天敵温存植物と餌資源 草種 | 天敵 | | |
|------------------|---------|-----------------|---------------|
| | テントウムシ類 | ヒラタアブ類 成虫 幼虫 | ヒメハナ カメムシ類 |
| ヘアリーベッチ(早生) | ○ | ○ ○ | ○ |
| ヘアリーベッチ(晩生) | ○ | ○ ○ | ○ |
| シロガラシ | ○ | ○ ○ | ○ |
| クリムゾンクローバ | ○ | ○ ○ | ○ |
| ハゼリソウ | | ○ ○ | |
| 餌資源 | | | |
| 花(花粉・花蜜) | □ | ● | □ |
| アブラムシ類 | ● | | □ |
| アザミウマ類 | | | ● |

「○」: 天敵の発生量が多い植物, 「●」: 天敵の主な餌資源, 「□」: 間接的な餌資源

天敵温存に有効な時期と特徴

| 草種 | 月 | | | | | | 備考 |
|-------------|----|----|---|---|---|---|---------|
| | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| シロガラシ | ● | ● | ● | ● | ★ | ★ | 早春期向け |
| ヘアリーベッチ(早生) | ● | ● | ● | ● | ★ | ★ | 匍匐性高い |
| クリムゾンクローバ | ● | ● | ● | ● | ★ | ★ | 草勢コンパクト |
| ハゼリソウ | ● | ● | ● | ● | ★ | ★ | すき込み容易 |
| ヘアリーベッチ(晩生) | ● | ● | ● | ● | ★ | ★ | 匍匐性高い |

●: 播種時期 ★: 天敵の主な発生時期

期待される成果

- ・天敵発生 of 早進化及び安定化
- ・対象品目野菜の生産性の向上



※対象品目: オクラ, ナス, ウリ科野菜等の露地・雨よけ栽培

○普及対象・範囲
県本土露地・雨よけ野菜生産者

鹿児島県農業開発総合センター
生産環境部病理昆虫研究室

(露地マイナー作物における天敵利用技術の確立)